

# 越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



## 令和六年、**福德円満**。

高瀬神社の神様は福の神―。  
大国さまをお参りして、  
活力に満ちた一年をすごしましょう。



撮影：蟹谷磨史

### 一月・二月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／一月は十三日のみ）  
歳旦祭（二月一日）  
元始祭（二月三日）  
昭和天皇祭（一月七日）  
天神祭（二月二十五日）  
節分祭（二月三日）  
紀元節祭（二月十一日）  
祈年祭（二月十七日）  
天長節祭（二月二十三日）



# 「甲辰の年頭にあたり」

宮司 藤井秀嗣

令和六年のお正月を迎え、皇室の弥栄、国家の隆昌、氏子崇敬者各位のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は当神社の御社殿屋根葺替事業と兼務神社「庄川弁財天社」の三十三年式年御開扉大祭が行われた多忙な一年でありました。おかげさまで双方とも恙なく終えることができました。

全てが上手くいったということではありませんが、どちらも奉賛金という点では苦労しましたし、また、地球温暖化の影響で猛暑となって、御屋根葺替工事においては厳しい環境下での作業となり、七月の御開扉大祭においては参拝者や獅子方が熱中症の危険があるなかでの斎行となりました。この様な厳しい状況ではありましたが、大神様の御加護をいただき、また、関係各位の赤誠溢れるご奉仕に助けられ、大きな事故もなく終えられたことは本当にありがたいことでした。

これらの行事を無事に奉仕してホッとしていたところ、十一月十五日に私の父である当神社名誉宮司が帰幽し、再び慌ただしい日々となりまして、享年九十四でした。教員として人に尽くし、神職として神様に尽くした人生でした。おかげさまで大病もせず長生きさせていただいた

と感謝しております。皆様には、たいへんお世話になりました。

最近では足腰が弱り、外出はできませんでしたが、高瀬神社の御屋根葺替工事の進捗状況を心配し、弁財天社の祭事のことにも気が掛けてくられていました。二つのことが無事に終了したことを見届け、安心して旅立ちました。

自分の身体のことよりも神社のことや職員のことを気づかい、ひいては、世のため人のために尽くすという神職としてのお手本を示してくれたと感謝しています。

令和五年を振り返ってみますと、大きな行事を控えて年初から緊張していたように思います。しかし、実際にことが動き始めると次々と協力者が現れ、大いに助けてもらいました。ひとりでは何もできませんが、人の力を借りれば回るほど良い知恵が人に関われば回るほど良い知恵が出来ます。努力しても埒が明かないときは、素直に協力を求め、また、ひとりで苦しんだり悩んだりしている人を見つけたら、手伝いますよと自然に行動できる、そのような人間関係が行事を円活に運んでくれます。人間関係が煩わしい、個人主義優先ということが言われて久しいのですが、当地は、まだ他人を思いやる気持ちが残っています。

人思いやる気持ちを大切にすることを実践できていれば大神様からのご褒美として、私も父のように九十四歳まで生かしてもらえなくてもいいかもしれません。長生きは望みませんが、新年の目標として、昨年中に皆さんからいただいた沢山の真心・恩・力を少しでもお返ししたい。それから、これまで以上に世のため人のために奉仕するということを実践したいと思います。これがきちんとできたかどうか、大神様の評価は将来明らかになることでしょう。

令和六年は甲辰（きのえたつ）の年。「辰」は十二支の五番目。方角でいうと東南東、時刻でいうと午前八時を表します。動物では「辰」は「龍」となり、十二支の五番目になつているのは、動植物が奮い立つ初夏の頃の意からといわれています。

「辰」は「龍」にあてられるので龍神様として、水の神、五穀豊穡の神、豊漁の神と崇められています。昨今の異常気象は大雨や熱波などをもたらします。新しい年は龍神様を祀る神社（例えば、奈良県・丹生川上神社や京都・貴船神社など）に参拝して、適雨・適温を願い、地球温暖化が少しでも収まり、災害の少ない年になるよう、さらには「龍」にあやかり、力強く上昇出来る一年になるようお願いしたいと思います。

今年も宜しくお願い申し上げます。

令和六（甲辰）年  
皇紀二六八四年  
謹賀新年

- 宮司 藤井秀嗣
- 禰宜 藤井典弘
- 長谷川宏幸
- 権禰宜 岩田智典
- 山森信人
- 巫女 五反日乃
- 米田亜依
- 源 結羽
- 大島未鈴
- 中井直美
- 参集殿 支配人
- ワケナシ
- 百華
- 囑託 上口友子



# 新嘗祭齋行

あわせて篤農家表彰並びに感謝状授与式

北陸地方では冬支度の声も聞こえ始める十一月二十三日、今年の新嘗祭を大神様に感謝申し上げ、氏子崇敬者の益々の繁栄を祈念する「新嘗祭」を斎行しました。

## 五穀豊穡を祝って

古来、その年の五穀豊穡をもたらす大神様の御恵みに感謝し、農作物の豊かな稔りを祈るこの祭事。大前には丹精込めて作られた米・野菜など、多くの農作物が所せましと供えられました。

また、今年の参向使は「なんと農業協同組合」代表理事組合長



上田憲仁氏、「献穀の儀」は本年度献穀田奉耕者 波能治男氏、井波地域農業者会会長 西村精志氏、同稲作部長 岩崎宏志氏にござりました。

祭典に引き続き、前出の波能氏に感謝状、また木村正治氏、菫田隆治氏がそれぞれ篤農家表彰を受けられました。

木村氏は、地区内営農組合の育苗責任者としての功績、また菫田氏は農学博士としての知識を活かしての地域営農への貢献が認められての受彰となりました。



九月十八日、高瀬神社の秋の伝統行事である「奉納剣道大会」を開催しました。今回は井波八乙女体育館での大会となりましたが、会場内は例年と変わらぬ声援と、はじける笑顔で満ち溢れていました。

## 【団体の部】

- ▽小学生男・女
  - ①井波剣道スポーツ少年団
  - ②B & G 砺波剣道スポーツ少年団
- ▽中学生男子
  - ①井波中学校
  - ②庄西中学校
- ▽中学生女子
  - ①出町中学校

# 第六十一回 奉納剣道大会 開催

## 【個人の部】



- ▽小学生男子
  - ①ベック・ジョシユア
  - ②浅田快生 (福野) (B & G)
  - ③小西 夢翔 (井波)
  - ④安田 雄彦 (福野)
- ▽小学生女子
  - ①藤田 弥沙 (庄川)
  - ②富田 いつき (晴武館)
  - ③荒井 音羽 (B & G)
  - ④朝日 惺愛 (庄川)
- ▽中学生男子
  - ①松井 佑晟 (井波)
  - ②二上 陽光 (庄西)
  - ③中山 皓斗 (井波)
- ▽中学生女子
  - ①中川 颯人 (井波)
  - ②中田 結菜 (井波)
  - ③鹿渡 愛来 (出町)
  - ④小西 桜愛 (井波)
  - ⑤足原 希伊 (庄川)
- ▽高校生男子
  - ①荒井 颯仁 (南砺福野)
  - ②中嶋 太基 (南砺福野)
  - ③野村 立心 (南砺福野)
  - ④堀井晴奈仁 (砺波)
- ▽高校生女子
  - ①大谷日葉里 (南砺福野)
  - ②五十里 梓 (南砺福野)
  - ③新井 遥日 (南砺福野)
  - ④西田 美月 (南砺福野)



# 明治節祭齋行

— 国の隆昌と世界平和を  
祈念して —

ひさかたの  
空はへだてもなかりけり  
つちななる国はさかひあれども

明治天皇御製（明治三十九年）  
（口語訳）  
大地に国境があっても  
空には何も隔てるものはない。

現在では「文化の日」として広く国民に親しまれている十一月三日、「明治節祭」を齋行しました。祭典では、わが国の近代国家への基礎を築かれた明治天皇のご遺徳を讃え、益々の国の隆昌と世界の平和を祈念しました。



祝祭日には国旗を掲げましょう



## 献穀田だより

### 抜穂祭齋行

— 心をこめて、丁寧に。 —

九月十九日、高瀬神社献穀田において「抜穂祭」を齋行しました。当日は五名の早乙女により「抜穂の儀」が行なわれ、見事に稔った稲穂を刈り取りました。

収穫された稲は当神社の新嘗祭、また「懸税」として伊勢の神宮の神嘗祭に供えられました。



### 金婚祭

— ゆかりある人々の  
幸せを祈り —

この日、長い年月を共に歩み、めでたく五十回目の結婚記念日を迎えられた四組の氏子ご夫妻をお名前が、大前に奏上されました。これまでの幸せな暮らしと、平穩無事を大神様に感謝し揃って玉串を捧げると、引き続き高瀬地区老人クラブ連合会よりの「金婚状」と記念の「金杯」が贈呈されました。

保寿会 山田 静夫 睦 子 ご夫妻  
静寿会 土田 郁夫 須美子 ご夫妻  
福寿会 武部 忠治 真由美 ご夫妻  
福寿会 大島美智雄 由美子 ご夫妻  
心よりお祝い申し上げます。



## 祭事暦

《令和六年》

一月 一日	歳旦祭
一月 三日	元始祭
一月 七日	昭和天皇祭遙拝祭
一月 二十五日	天分祭
二月 三日	節分祭
二月 十一日	紀元祭
二月 十七日	祈年祭
二月 二十三日	天長祭
三月 八日	鎮火祭
三月 二十日	春季皇霊祭遙拝祭
四月 三日	神武天皇祭遙拝祭
四月 十日	春季皇霊祭遙拝祭
四月 二十九日	昭和天皇祭
六月 十日	祈年祭
六月 十九日	風宮祭
六月 三十日	稻荷社例祭
七月 七日	夏越祭
七月 二十一日	七夕祭
七月 中齋行予定	除熱祭
八月 十六日	人形感謝祭
八月 十六日	例祭
九月 十三日	秋季皇霊祭遙拝祭
九月 二十日	村まつり
十月 六日	神嘗奉祝祭遙拝祭
十月 十七日	神明祭
十一月 三日	神明宮例祭
十一月 十三日	七五三祝祭
十一月 十五日	新嘗祭
十二月 二十三日	師走大祓祭
十二月 三十一日	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭  
◎毎月十三日 交通安全祈願祭



# 七五三祝祭齋行

お子様の健やかな  
成長を祈って

十一月十五日、お子様たちの無事の成長を大神様に感謝し、今後ますますの健康と幸せを祈念する七五三祝祭を齋行しました。  
七五三詣は三歳の「髪置き」、五歳の「袴着」、七歳の「帯置き」の儀式を起源とする、古くよりわが国に受け継がれる大切な人生儀礼のひとつです。



大神様をお守りする一文字注連縄

## しめなわ 注連縄奉納奉告祭

一 注連縄に願いをこめて一

高瀬神社「注連縄奉納講」では毎年、清々しく新年を迎える為に、その年一年間社殿に掛けられる、新しい注連縄を奉納しています。

注連縄の奉製を担当したのは、射水市の株式会社縄合屋。代表の折橋由紀氏をはじめ職人の皆さんにより、その材料選びから掛け替えに至るまで、心を込めて仕上げてくださいました。

この美しい注連縄には、ご奉納いただいた皆様の祈願紙が縷い込まれており、今年一年間大神様のおそば近くに掲げられます。



### 社報バックナンバーのご案内

当神社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさってください。 <https://www.takase.or.jp>

### 注連縄奉納講

奉賛者芳名

- 株式会社縄合屋
- 有限会社石森石材
- キョーリン製菓グループ工場株式会社
- 森田建設株式会社
- 藤森工業株式会社
- 有限会社西林石油店
- 有限会社庄川建鋼
- 株式会社三楽園
- 株式会社プライダルコアあなだ
- 富山総合ビルセンター株式会社
- 中村屋
- 日の出屋製菓産業株式会社
- 庄川温泉観光ホテル
- 庄川泉源株式会社
- 株式会社川金
- センダン電子株式会社
- 庄川自動車株式会社
- 株式会社ジオミックス
- 株式会社島田木材
- アンヘルハート
- チューリップ交通株式会社
- 宮窪電気商会
- となみ観光交通株式会社
- 南部スタジオ
- ニューイングランドたかた
- 東洋通信工業株式会社
- 株式会社レックラヴィファクトリー
- タチフレックス
- ナンテナアフル
- 農事組合法人ファーム八乙女

(順不同・敬称略)

### ご奉納御礼

【奉納演奏】

九月二十四日奉祝慶賀祭にて演奏  
東京大衆歌謡楽団 殿

【奉納揮毫】

信貴 聖玉殿

【大国様石像】

(有)石森石材 石森 孝幸殿



【盆栽五鉢】

神嶋 利夫殿

【初穂米】

岩倉 勲殿

小石 達人殿

葭田 隆治殿

【神饌米】

井波地域農業者会 殿

波能 治男殿

岩倉 和弘殿

寺西 雅典殿

【里芋】

河原 祥滋殿

以上の皆様よりご奉納を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。





## 大国さまの処方せん ①①

「口は幸せのもと」

南砺市民病院  
歯科口腔外科医長 木村 依世

不用意に話したことが自分自身に災いを招く恐れがあることを例えて、昔から「口は災いのもと」と言われます。

口には、話すこと以外にも、食べる、呼吸する、表情を作る、消化を助ける、姿勢を保つなど十五の役割があると言われていています。これら多様な口の働きによって、人間は栄養を摂取し、コミュニケーションをとることで生命活動を営んでいます。

しかし、むし歯や歯周病により歯を失ったり、老化によって舌の力が衰えたり、唾液が出なくなると口の機能は著しく低下します。特に、国民栄養調査（厚生労働省）によると四十歳代から「咀嚼する力」は徐々に低下し、六十歳代になると急降下するそうです。一見すると、なんでも不自由

なく食べているつもりでも、知らず知らずのうちに自分が食べやすい柔らかい食事ばかりに偏っていませんか？

政府は、二〇一五年に「オーラルフレイル」という言葉を提唱しました。これは「口の虚弱」を意味し、放っておくと要介護度や死亡リスクが高くなると報告されています。また、歯周病になると、口の中の細菌が歯肉の血管から侵入し、全身の病気に関与するところとがわかってきました。

狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、早産・低体重児出産、骨粗鬆症、関節リウマチ、慢性腎臓病、糖尿病、誤嚥性肺炎などに影響があるとされ、アルツハイマー型認知症との関連も研究されています。まさに、医学的にみても「口は災いのもと」と言えるでしょう。

国民一人一人が歯や口の健康を意識して、「オーラルフレイル」を進行させないように歯磨きや口の体操、定期的な歯科受診をこころがけることで、おいしく何でも食べる、楽しく話すことを実践し、「口は災いのもと」から「口は幸せのもと」に変えましょう。

木村 依世 先生

南砺市民病院  
歯科口腔外科医長

富山県高岡市出身。鶴見大学歯学部卒。金沢大学大学院卒。医学博士。口腔外科認定医。  
口腔外科診療に加え、地域の訪問診療に積極的に取り組まれています。

医薬医療の神として知られる大国主大神（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。



は がた  
**歯固め石**  
の ご案内

初宮参りにてご昇殿の赤ちゃんに、お食いの初めの「歯固め石」をお頒ちしています。「丈夫な歯が生え、ますますの願いを込めて行儀に、この「歯固め石」をご希望の方は、どうぞご祈禱後にお申しつけ下さい。

### 安産祈願 戌の日カレンダー 令和6年

1月 11日・23日	4月 4日・16日・28日
2月 4日・16日・28日	5月 10日・22日
3月 11日・23日	6月 3日・15日・27日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。

### 令和6年 厄年・身祝一覧

	前 厄	本 厄	後 厄
男	24歳 平成13年(巳)	25歳 平成12年(辰)	26歳 平成11年(卯)
	41歳 昭和59年(子)	42歳 昭和58年(亥)	43歳 昭和57年(戌)
	*60歳 昭和40年(巳)	*61歳 昭和39年(辰)	*62歳 昭和38年(卯)
女	18歳 平成19年(亥)	19歳 平成18年(戌)	20歳 平成17年(酉)
	32歳 平成5年(酉)	33歳 平成4年(申)	34歳 平成3年(未)
	*36歳 昭和64年・平成元年(巳)	*37歳 昭和63年(辰)	*38歳 昭和62年(卯)

	年齢	生まれ年	
〈身祝〉 数え年	還暦	61歳	昭和39年(辰)
	古希	70歳	昭和30年(未)
	喜寿	77歳	昭和23年(子)
	傘寿	80歳	昭和20年(酉)
	米寿	88歳	昭和12年(丑)
	卒寿	90歳	昭和10年(亥)
	白寿	99歳	大正15年・昭和元年(寅)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。  
\*…この年を厄とする地域もあります。

※男女ともに祝います。

# 御社殿屋根修復事業奉賛者芳名

(順不同・敬称略)

令和五年九月一日～十一月三十日

去る九月に竣功を迎えた本事業に対し、左記の方々より赤誠あふれるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

## 【百万円】

森田建設(株)

森田市五郎

大和トランスポート(株)

村西 更新

## 【五十万円】

若鶴酒造(株)

雄神神社

加口組

加口 正樹

米原商事(株)

内記 正弘

若林屋総本家

若林 康法

(株)ゼフィール

南砺市遺族会

井口支部

富賀見優志郎

源 結羽

山中 秀男

(株)エフエムとなみ

大島 茂夫

川嶋 雄司

前田 一

大西 俊之

横川 恵喜

農事組合法人

五箇山和紙

前崎 真也

山宗工業

竹田 衛

平岡 邦彦

塩田 敦

西野 慶子

高原 悠希

川崎 寛史

## 【五千円】

梅島 邦夫

塩田 美保

海老澤春子

澤 悦子

笹沼 克俊

小泉 由和

沢 彰

西原 進

古野美智子

山本 栄明

山本 栄明

ペリチオジェフ

ペリチオジェフ

田村 千和

田村 一美

田村 一美

田村 一美

藤井真紀子

## 【辞令】

巫女見習 大島 未鈴

巫女を命ずる

令和五年八月一日

## 表紙写真

手水舎の龍吐水。昨年十月、地域有志の皆様より手前の龍を新たにご奉納いただきました。

## 豆まき、神事のご案内



古く節分は、「季節の変わり目」を表す言葉であり、立春が一年の始まりとする考えに基づき、この節目を特に「節分」と呼ぶようになりました。そして、季節の変わり目には災厄が生じるとの古い信仰から、現在も各地で豆まきなどの「厄払い神事」が行われています。

越中一宮高瀬神社の豆まき神事に、どうぞご参加下さい。

とき 令和6年2月3日(土) 午後3時  
ところ 高瀬神社 拝殿



## 編集後記

竜胆の花言葉は「勝利」など、今年、きつと誰しもが健やかで、しあわせな、悲しい知らせの少ない、明るい年になるはず。

(智)

## 名誉宮司帰幽のご報告

当神社 藤井秀弘名誉宮司は、去る令和五年十一月十五日に享年九十四にて帰幽いたしました。生前 皆様より賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。

## 手水舎龍吐水ご奉納御礼

御社殿屋根銅板葺替工事の竣功記念として、左記の団体・事業主他の皆様より手水舎龍吐水をご奉納賜りました。厚く御礼申し上げます。

高瀬神社責任役員

石岡 敬夫

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男

高瀬区長 岩倉 保男



# 新参集殿10周年

これからも新たな夫婦の幸福のために。



高瀬神社LINE

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291  
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

検索



高瀬神社HP

発行日 令和六年一月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291

TEL0763-82-0933 FAX0763-82-3304

印刷所 牧印刷株式会社